

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	家電量販店（営業担当）	単価の動き	・沖縄県が実施するキャンペーンが1月末で終了することから、対象商品のエアコンと冷蔵庫の売上が2けた伸長と好調に推移している。
	◎	その他専門店 [陶器]（製造）	販売量の動き	・特定の商品の発注頻度が、海外客の影響で増加している。
	○	百貨店（経営担当）	来客数の動き	・地元客による年末年始需要が活発となり、インバウンド需要もおおむね好調に推移している。
	○	スーパー（企画担当）	単価の動き	・今月は米と野菜の価格高騰が続いた影響で単価が上昇し、前年の売上を上回っている。
	○	コンビニ（経営者）	単価の動き	・客単価が上昇している。
	○	その他飲食店 [バー]（経営者）	来客数の動き	・例年だと1月は成人の日を過ぎると来客数が減少するが、今月は減少することなく来客している。
	○	観光型ホテル （企画担当）	販売量の動き	・10月のホテル販売室数が前年比22%増加したのに対し、1月は前年比40%増加しており、プラス幅が大きくなっている。
	□	商店街（代表者）	競争相手の様子	・飲食業や観光業と比較して物販業は落ち込んでいるため、厳しい状況である。
	□	一般小売店 [酒]（店長）	来客数の動き	・物価の上昇により、客が商品の購入を控えている。
	□	コンビニ（経営企画担当）	来客数の動き	・年初は観光客が多く、3連休は県内の人流も活発であったため、来客数は好調であった。
	□	乗用車販売店 （経理担当）	販売量の動き	・販売量は維持できている。
	□	旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・販売量は減少していないが、宿泊単価が想定より高額なことから、宿泊をためらう客が増加している。
	□	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・月初めは好調だったが第2週からは来客数、販売数共に落ち着いていることから、販売量は前年比80%に減少している。他社からの乗換えは多いが買換えの客が大きく減少しており、厳しい状態にある。
	□	住宅販売会社 （役員）	競争相手の様子	・分譲マンションや建売住宅の在庫調整が一部の業者で見受けられる。立地や価格帯にもよるが、販売が好調の物件もある。
	▲	コンビニ（副店長）	販売量の動き	・1月は年間でも比較的落ち着いた時期ではあるが、今年は予想よりも販売量が伸び悩んでいる。月末の春節に伴い訪日外国人に期待している。
	▲	衣料品専門店 （経営者）	販売量の動き	・12月と比較すると、今月は物価や燃料代の高騰により販売量が減少している。賃金が上がらず、金利は上がるとの予想も出ていたこともあり、国民の大半は先行きに不安を抱え、節約志向である。
	▲	住宅販売会社 （取締役）	販売量の動き	・民間受注件数が前年と比較して、20%減少している。
×	一般レストラン （代表者）	来客数の動き	・年明けはゆっくりしている。	
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－	－
	○	－	－	－
	□	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・売上は前年並みに回復したが、原材料価格の高騰及び運搬費と人件費の増加により製造原価が上昇し、利益率が低下している。
	□	輸送業（経営企画室）	それ以外	・取引先の受注量は例年通り推移している。
	□	会計事務所（所長）	それ以外	・業種を問わず人手不足と物価高騰により、事業経営は膠着状態である。
	▲	食料品製造業 （役員）	受注量や販売量の動き	・1月になり引き続き観光関連は堅調に推移しているが、野菜価格の上昇により食品関連の売行きが例年よりも低調になっている。
×	－	－	－	－
雇用	◎	－	－	－

関連 (沖縄)	○	求人情報誌製作 会社（営業）	求人数の動き	・6月から12月にかけて求人数は緩やかに減少傾向であったが、3か月前と比較し今月の求人数は10%増加している。業種や業態カテゴリーとしても全体的に増加している。ただし、前年同月比では20%減少している。
	○	学校〔専門学校〕 （就職担当）	求人数の動き	・2025年となり、多くの企業から求人を受けている。会社説明会の依頼もあり、多くの企業が基本給を前年より上げている。
	□	人材派遣会社 （経営者）	求人数の動き	・派遣依頼が増加している業種と変わらない業種で分かれている。
	□	人材派遣会社 （総務担当）	求職者数の動き	・求人数に対して求職者の動きが鈍く、マッチングにつながらない。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求職者、新規求人数共に減少している一方で、シニア層の求職者数は増加となっている。物価高のため年金だけでは生活が苦しいという声がある。
	▲	学校〔大学〕 （就職支援担当）	それ以外	・物価高による消費行動の抑制が強まっている。
	×	—	—	—